

「第33回全国都市緑化よこはまフェア」みなとガーデン会場のひとつ グランモール公園の主要なリニューアル工事が完成しました



©ITOON/GN2017

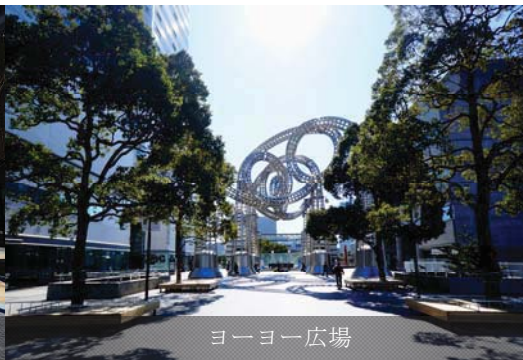
概要

昨年の「美術の広場」のリニューアルオープンに続き、このたび「ヨーヨー広場、眺めの広場、栈橋の広場」のリニューアル工事が完成し、平成27年度から着手したグランモール公園の主要な再整備工事が完了しました。

同公園は、3月25日から開催されている「第33回全国都市緑化よこはまフェア」のみなとガーデン会場のひとつとなっています。



眺めの広場



ヨーヨー広場



栈橋の広場

1. 再整備全体のポイント

グランモール公園の再整備は、施設の老朽化への対応や周辺街区の発展、「横浜みどりアップ計画」における実感できる緑の創出、「環境未来都市・横浜」の「みなとみらい2050」プロジェクトの取組みのひとつとして実施しており、平成27年度～29年度の3か年で進めています。

『ランブリングパーク～歩行者軸を超え、憩いと賑わいのあふれる公園へ～』をコンセプトに、ウォーターフロントに立地する公園として、「ヨーヨー広場」では『船』を、「眺めの広場、栈橋の広場」では『港』をテーマとしてデザインを展開し、みなとみらい21地区の魅力を高める施設としました。なお、再整備工事は、29年度も円形広場などの一部において継続して実施します。

2. 今回の再整備のポイント ※リニューアル計画の概要は参考資料参照

(1) 壁泉【ヨーヨー広場】



ランドマークタワーとクイーンズスクエアの間に位置し、公園の入口と言える「ヨーヨー広場」に生まれた水のゲート。

みなとみらいの新たな待ち合わせスポットのひとつになりそうです。

(2) デッキファニチャー【ヨーヨー広場】



ヨーヨー広場に新たに生まれたクスノキと一体となった憩い空間。船をモチーフとしたウッドデッキと白い手すりのあるベンチです。夜間は手すりが柔らかい光に包まれます。

(裏面あり)

(3) テラス 《憩い空間と一体となった水景》
【眺めの広場、棧橋の広場】



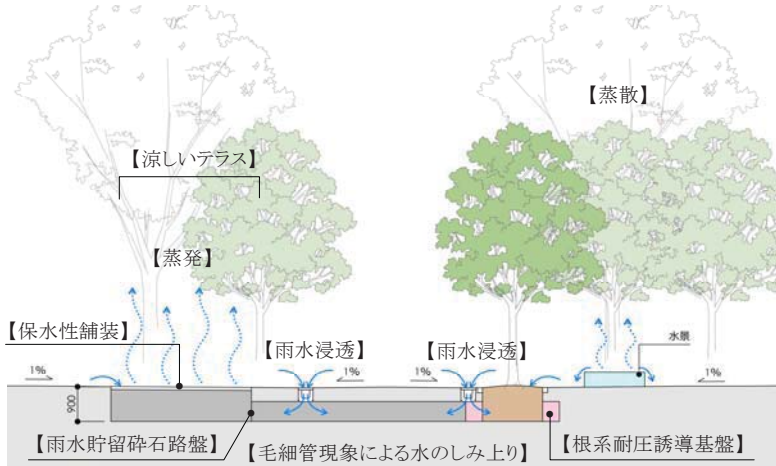
港の棧橋をイメージしたレンガのベンチと一体となった水盤が、多様な水の景を創出します。レンガの天端には、横浜港とつながる世界の75の港の名前が刻まれ、レンガは西欧等の伝統的な6種類を用いて積まれています。

(4) プラザ 《広がりのある交わりの光》
【眺めの広場、棧橋の広場】



渚や水紋など水をモチーフにした光の演出や、開港記念日、クリスマス、祝日など、特別な日にあわせた光の演出を行います。

(5) グリーンインフラの活用【各広場共通】



環境未来都市・横浜の「みなとみらい2050プロジェクト」の一環として「グリーンインフラ」と呼ばれる新しい技術を活用しました。

具体的には、テラスの憩い空間等の舗装下部に路盤機能と雨水貯留機能を持つ砕石層を設置し、植栽への水の供給・良好な生育促進、樹木や保水性舗装と連動した打ち水効果（蒸発散）により、夏の涼しさを実感できる仕組みを導入しました。

※グリーンインフラ：自然環境が持つ多様な機能を活用して、多面的な効果を発揮できるようにするという新しいインフラ整備の概念

3. 事業スケジュール

平成24年度～26年度	計画・設計、市民意見募集・ヒアリング、熱環境等調査
平成27年度	再整備工事：美術の広場地区
平成28年度	再整備工事：ヨーヨー広場、眺めの広場、棧橋の広場地区
平成29年3月25日～6月4日	第33回全国都市緑化よこはまフェア(みなとガーデン会場のひとつ)
平成29年秋 ～平成30年3月(予定)	再整備工事：円形広場地区など
平成30年春(2018年)	再整備工事完了予定

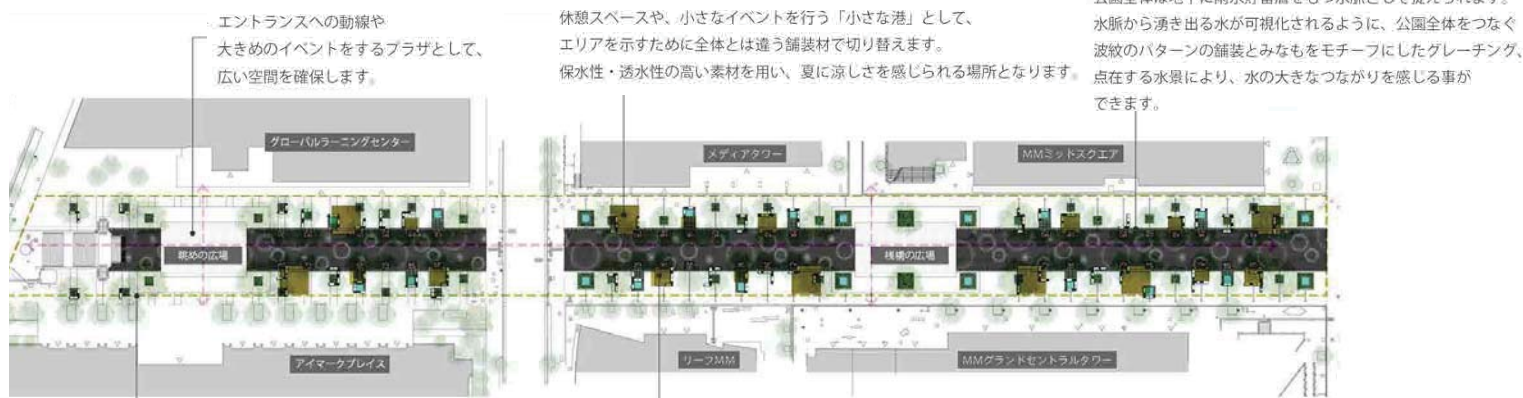
4. 公園概要

公園種別	近隣公園	公開年	平成3年(1991年)
公園面積	23,102m ²	延長	約700m



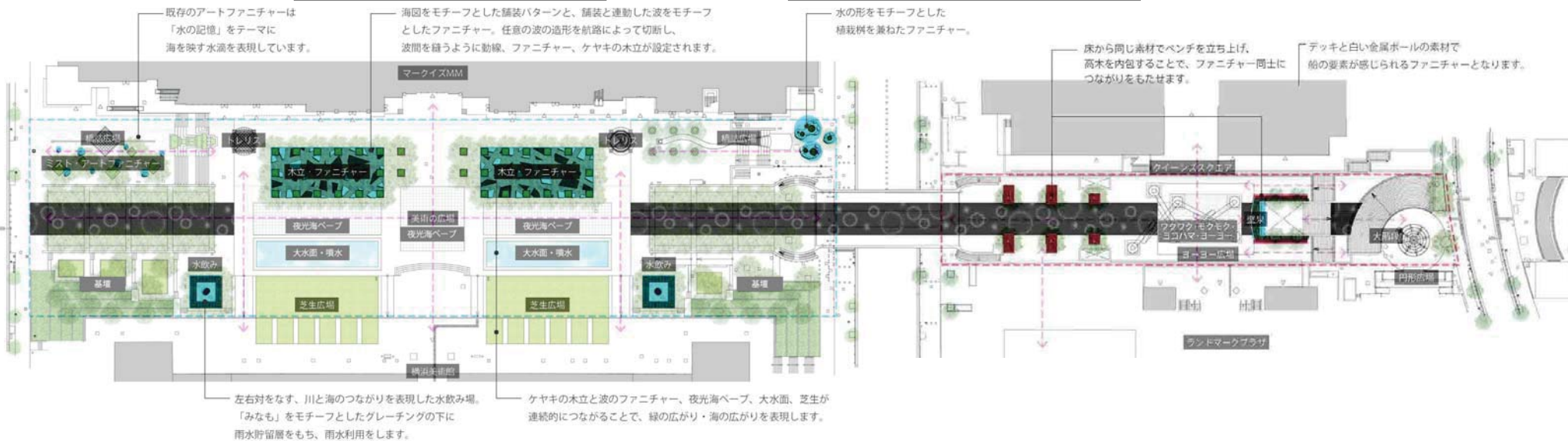
お問合せ先	
環境創造局公園緑地整備課長 藤田 辰一郎 Tel 045-671-2614	
南部公園緑地事務所都心部公園担当課長 得能 千秋 Tel 045-671-3793	

(参考資料) グランモール公園リニューアル計画の概要図



眺めの広場 (旧ジャックモール前)

棧橋の広場 (メディアタワー前)



美術の広場

ヨヨー広場